

# 平成24年度 事業報告

平成24年度は、横浜みなと博物館の入館者数が300万人を突破し、また総帆展帆は300回を迎え、同記念式典の開催実施等を含め、学校営業の強化、シーカヤック事業の拡大、企画展による新たなファンの獲得等により、協約目標である日本丸・博物館の総合来場者数は、17万人を越えて171,167人のお客様をお迎えすることができました。日本丸メモリアルパークの入場者につきましても112万人を数え、年間目標である97万人を突破することができました。

平成25年度は、帆船日本丸の大規模改修に向けての調査・検討を開始いたします。併せて既存各事業についても見直し、更なるお客様満足度の向上とみなとみらい地区の賑わい創出に向け、シーカヤック体験教室等の参加型事業の積極的な展開をはかり、横浜市との協約目標である帆船日本丸・横浜みなと博物館の入場者数18万人を目指していく所存です。

## I 帆船日本丸事業

### 1 保存事業

帆船日本丸の保存・公開・青少年練成の三大事業を進めてきました。日常の保守整備には、休館日を重点整備に充て、帆走ぎ装、消防設備、排水設備を中心に、さらに居住区等の公開区域の保守整備に努めてきました。帆船日本丸を良好な状態で保存するために次の整備を実施しました。

#### (1) 日常保守点検整備

- ① 観覧者通路、公開区域の安全点検・整備
- ② 船内及び甲板の清掃、船内真鍮磨き
- ③ マスト、ヤードその他帆装ぎ装の点検整備
- ④ 外板清掃及び水線塗装
- ⑤ 木甲板補修
- ⑥ セイル作製、セイル補修
- ⑦ 発錆部手入れ
- ⑧ 実習生居室整備

#### (2) 年次船体整備

- ① マスト、ヤード、リギン類総塗装
- ② 凹甲板木甲板一部新替
- ③ 船体外板防食用仮設アルミ陽極交換
- ④ 一部外板当て板施工
- ⑤ 消防設備等点検
- ⑥ 汚水処理装置点検整備、雑排水装置点検整備

- ⑦ 清水ポンプ架台補強
- ⑧ 電気設備点検
- ⑨ 下船栈橋滑り止め塗装
- ⑩ 中間検査受検

(3) 災害防止

- ① 観覧者及び展帆・甲板ボランティアの安全確保
- ② 船内防災センターにおいて火災、浸水及び不法侵入者等に備えて24時間体制で集中監視を実施
- ③ 震災を想定した防災訓練の実施
- ④ 栈橋監視用 ITV 装置の更新

(4) 甲板ボランティアの協力

日本丸の清掃・日常整備作業等に次のとおり協力をいただき、シップシェイプに努めてきました。

\*日常保守点検整備へのボランティアの参加状況

項目／年度	平成24年度	平成23年度
ボランティア参加日数	179日	189日
ボランティア参加延人数	924人	918人

## 2 公開事業

(1) 公開日数・観覧者数

項目／年度	平成24年度	平成23年度
公開日数	290日	289日
観覧者数	163,568人	138,687人

(2) 総帆展帆実績

回数	平成24年度	ボランティア数(人)	回数	平成23年度	ボランティア数(人)
1	4月15日	109	1	4月10日	87
2	5月6日	93	2	4月29日	105
3	5月20日	84	3	5月15日	94
4	6月2日	87	—	5月29日	雨天中止
5	6月24日	98	4	6月12日	80
6	7月16日	102	5	6月26日	90
7	8月5日	84	6	7月18日	109

8	8月26日	77	7	8月7日	81
9	9月9日	84	8	9月4日	78
—	9月23日	雨天中止	9	9月25日	88
10	10月14日	97	10	10月23日	96
11	11月4日	122	11	11月6日	95
計	11回	1,037	計	11回	1,003

(3) 親子展帆実績（午前、午後実施）

回数	平成24年度	参加人数(人)	回数	平成23年度	参加人数(人)
1, 2	5月13日	41	1, 2	4月17日	36
3, 4	5月27日	37	3, 4	5月8日	88
5, 6	7月15日	67	5, 6	6月5日	43
7, 8	8月12日	79	7, 8	7月3日	31
9, 10	10月28日	23	—	8月21日	雨天中止
11, 12	11月11日	30	9, 10	9月11日	44
13, 14	3月17日	55	11, 12	3月18日	51
計	14回	332	計	12回	293

(4) 満船飾実績

4月29日、5月4日、5月5日、6月2日、7月16日、9月17日、9月22日、10月8日、11月3日、12月23日、1月27日、3月20日（計12回）は予定どおり実施しました。

※5月3日、11月23日、1月14日は雨天のため中止しました。

(5) 総帆展帆協力者の養成実績

平成24年度の新規ボランティア養成訓練は5人が参加しました。

平成25年3月末現在 展帆ボランティア養成者総数 1,182人  
（男性 565人、女性 617人）

平成25年3月末現在 登録ボランティア数 2,192人  
（男性 1,529人、女性 663人）

(6) 帆船日本丸船内ガイドの実施

一般社団法人海洋会横浜支部及び一般社団法人全日本船舶職員協会横浜支部の協力を得て、帆船日本丸に乗船経験のある元船長・機関長を中心としたガイドボランティアによる船内案内を公開日に実施しました。

### 3 青少年錬成事業

生きた帆船として保存している帆船日本丸を訓練の場として、青少年錬成のための海洋教室を半日コース 8回 272人、1日コース 8回 303人、宿泊コー

ス 13回 1, 850人実施しました。参加者は2, 425人でした。

平成23年度は、半日コース 6回 205人、1日コース 2回 41人、宿泊コース 16回 2, 268人の計2, 514人でした。

(1) 海洋教室実績

コース別 開催日	参加団体名	延べ参加人数	
半日コース	5月11日	厚木市立東名中学校	23
	7月1日	井土ヶ谷青少年指導員協議会（南区）	30
	7月14日	ボーイスカウト町田	18
	7月29日	財団主催親子海洋教室	36
	8月7日	よこすかジュニアカレッジ	14
	8月16日	大空学童クラブ（南区）	21
	9月30日	JAF 主催海洋教室	38
	10月12日	相模原市立弥栄小学校	92
1日コース	7月27日	財団主催高学年海洋教室	31
	8月22日	子どもアドベンチャー2012	49
	8月23日	子どもアドベンチャー2012	37
	8月25日	ダウンパークきずなの会	14
	9月5日	横浜国立大学教育人間科学部附属鎌倉小学校	45
	9月14日	公田小学校（栄区）	49
	10月13日	キッズクラブ	32
	11月29日	横浜国立大学教育人間科学部附属鎌倉小学校	46

宿泊コース	4月12日 ～13日	横浜市工業会連合会	100
	5月17日 ～18日	深谷小学校（戸塚区）	96
	5月24日 ～25日	丸山台小学校（南区）	174
	6月7日 ～8日	桜井小学校（栄区）	120
	6月16日 ～17日	よこはまこどもマリンスクール リーダー研修	48
	6月28日 ～29日	下野谷小学校（鶴見区）	166
	7月7日 ～8日	よこはまこどもマリンスクール①	196
	7月21日 ～22日	よこはまこどもマリンスクール②	196
	10月25日 ～26日	新吉田第二小学校（港北区）	124
	11月8日 ～9日	森東小学校（磯子区）	110
	11月13日 ～14日	伊勢山小学校（泉区）	132
	3月9日 ～10日	よこはまこどもマリンスクール③	190
	3月23日 ～24日	よこはまこどもマリンスクール④	198
合 計		29回	2,425人

#### 4 教育普及事業等

帆船日本丸を活用して、日本丸の魅力と帆船の文化を理解してもらうため教育普及事業を行いました。

中学生3人に職業体験を行いました。

## II 横浜みなと博物館事業

来館者が船や港、海に親しみ、興味をもって楽しんでいただけるよう、市民ボランティアと協働して、体験的なプログラムと展示活動を行いました。

特別展示事業では、夏に「のぞいてみよう深海の不思議展」、秋に企画展「魅惑の日本の客船ポスター展」、冬には昭和戦前期を中心に国際的な観光の視点から「横浜港観光名所紹介展」を開催し、好評を得ました。

また、8月には平成元年の開館以来の総入館者数が300万人を達成し、記念セレモニーを行いました。

従前の活動と新たな取り組みにより、入館者の満足度を高め、何度でも来ていただける博物館づくりに努めました。

### 1 常設展示事業

#### (1) 公開日数・観覧者数

項目／年度	24年度	23年度
公開日数	312日	311日
観覧者数	161,062人	135,911人

#### (2) 館内案内

入館者に展示への理解を深めていただくために、ボランティア及び学芸員による展示内容の案内と説明を行ないました。

学芸員による主な館内案内は、次のとおりです。

- 4月 1日 林市長、企画展見学
- 8月 18日 指定都市議長会、視察
- 8月 24日 市経済・港湾委員会、視察
- 10月 30日 船員教育財団会長、案内
- 11月 21日 国土交通省技術総括審議官、企画展見学
- 2月 7日 財務省主計官、視察
- 3月 5日 国土交通省技術総括審議官、視察 案内合計127名

#### (3) 展示案内ボランティア

博物館の「ファンづくり」「サポーターづくり」の大きな柱として、博物館活動を活発にするお手伝いをさせていただくボランティアを導入しています。24年度は新規に募集し、7の方が加わりました。

①活動内容：常設展示の案内

②登録者数：22人

#### (4) 展示品保守と展示内容の更新

日常の職員の点検・保守のほか、適宜不具合の修理、補修を行い、展示品を良好な状態に保ちました。保守については年2回（9月、3月）の定期保守点検を行いました。また、横浜港をとりまく新しい情報を展示に反映させました。

## 2 特別展示事業

常設展示で扱えなかったテーマや資料収集・調査研究の成果に基づいた企画により特別展示事業を行いました。企画展は、近代日本の客船の発展過程と変遷をポスターを通して紹介する「魅惑の日本の客船ポスター展」と、国際観光という視点から横浜港と関連する名所を紹介した「横浜港観光名所紹介展」を開催しました。また、宮城県石巻地方の東日本大震災復興写真展や夏休みに「深海の不思議展2」、市民参加の第4回目の帆船日本丸の公募写真展なども行い、年間を通して展覧会を実施しました。

- |        |   |
|--------|---|
| (1) 名称 | 「東日本大震災 第1回 石巻かほく復興写真展」   |
| 会期     | 平成24年6月2日（土）～6月17日（日）   |
| 展示内容   | 三陸河北新報社が公募した震災後の石巻地方を写した写真58点を展示しました。会期中に石巻物産展を3回開催しました。会場内での募金72,542円を三陸河北新報社へ寄付しました。                          |
| 入館者数   | 15,798人   |
|        |   |
| (2) 名称 | 「のぞいてみよう深海の不思議展2～なぞに挑む調査船～」   |
| 会期     | 平成24年7月14日（土）～8月19日（日）  |
| 展示内容   | 夏休みに海に親しむ展示を（独）海洋研究開発機構の協力により実施。深海調査船をテーマに展示しました。同機構及びボランティアの協力によりワークショップを会期中59回開催し、2,603人が参加しました。              |
| 入館者数   | 37,488人   |
|        |   |
| (3) 名称 | 企画展「魅惑の日本の客船ポスター展」  |
| 会期     | 平成24年10月6日（土）～11月25日（日）   |
| 展示内容   | 海運会社は、集客や集荷のための宣伝の一つとして、たくさんのポスターをつくってきました。ポスターには、その時々々の海運状況が反映されています。近代日本海運の一翼を担ってきた客船の発展過程と変遷をポスターを通して紹介しました。 |
| 入館者数   | 20,676人   |
| 関連行事   | ①フロアガイド(担当学芸員による展示解説)<br>日 時：10月13日（土）、10月27日（土）、   |

11月24日(土) 各日11時、14時

参加者：3日間計62人

②記念講演会「日本のポスター史に見る客船ポスター」

日時：11月3日(土・祝) 14時～16時

講師：田島奈都子氏(青梅市立美術館学芸員)

会場：日本丸訓練センター

参加者：58人

- (4) 名称 第4回「横浜の帆船日本丸」募集写真展  
会期 平成24年12月15日(土)～平成25年1月27日(日)  
展示内容 市民から募集した日本丸の写真137点を展示。12月15日にアリーナで表彰式を実施しました。8月に親子向けの関連事業を実施しました。  
入館者数 32,732人

- (5) 名称 「横浜港観光名所紹介展」  
会期 平成25年2月16日(土)～4月7日(日)  
展示内容 国際港としての観光が始まった明治から昭和を中心に、国際観光という視点から、横浜港と関係する名所を、錦絵、ポスター、真葛焼、リーフレット、模型、写真などで紹介しました。

入館者数 17,836人

関連行事 ①フロアガイド(担当学芸員による展示解説)

日時：3月2日(土)、3月16日(土)、4月6日(土)

各日11時、14時

参加者：3日間計35人

②記念講演会「サムライ商会と外国人美術収集家」

講師：野村弘光氏(ホテル、ニューグランド取締役)

日時：3月20日(水・祝) 14時～16時

会場：日本丸訓練センター

参加者：92人

### 3 教育普及事業

港や船、海について関心と認識を深めるため、年間を通して小・中学生及び大人を対象とした各種教育普及活動を行いました。

市内の小学高学年向けに、海と船に親しむ1年間のプログラムによる横浜みなとキッズクラブ、また、入館者向け毎週土曜日の楽しい船の折り紙教室、簡単な日本丸のペーパークラフトをつくるサンデーペーパークラフト教室を毎週日曜日に開催しました。サンデーペーパークラフト教室では帆船日本丸に加え、9月から新規に黒船ポーハタンのペーパークラフトを導入しました。

### (1)教育活動ボランティア

土曜日の楽しい船の折り紙教室の指導ほか、夏休みの船の工作教室などもお手伝いいただきました。また、9月に新規の募集を行い、5人が加わりました。

① 活動内容：船の折り紙教室、サンデーペーパークラフト教室、船の工作教室等の指導

② 登録者数：17人

### (2)横浜みなとキッズクラブ

横浜みなとキッズクラブは、小学4～6年生の子どもたちを対象に、海と船と港、くらしと環境について理解を深め、あわせて帆船日本丸と横浜みなと博物館のファンを増やすことを目的に活動をしました。シーカヤック教室、コンテナターミナル見学会、水産総合研究センター見学会など1年間7回のプログラムを実施しました。 会員：44人

名 称	実施月日	参加者数	会 場 他
説明会	4月22日	52	訓練センター
発足式、第1回 博物館、日本丸、メモリアルパーク探検	5月13日	44	訓練センター、常設展示室、日本丸、メモリアルパーク
第2回 横浜港観察会	6月10日	41	大さん橋国際客船ターミナル
第3回 シーカヤック教室	7月29日	42	シーカヤックパーク
第4回 コンテナターミナル見学会	8月24日	33	南本牧ふ頭
第5回 日本丸で学ぼう	10月13日	32	日本丸
第6回 水産総合研究センター見学	12月26日	31	水産総合研究センター
第7回 展示発表会及び修了証授与式	3月25日	35	横浜みなと博物館

### (3)教育普及事業実績

行 事 名	実施月日	参加者数	会 場 他
楽しい船の折り紙教室	4～3月 毎週土曜日	3,444	常設展示室／51回
キッズのためのクイズラリー	4～3月 毎週土曜日	4,671	常設展示室／52回

サンデーペーパークラフト 教室	4～3月 毎週日曜日	3,355	常設展示室／52回
カンタン!船の工作教室	5月3日、 6月2日	286	1階展示室／メモリアル パーク
大人のための帆船日本丸 ペーパークラフト教室中級編	5月19日	7	訓練センター
大人のための帆船日本丸 ペーパークラフト教室上級編	5月26日	11	訓練センター
なるほど!ミナト散歩～ 開港の道コース～	6月23日	24	メモリアルパーク～赤 レンガパーク～大さん 橋
親子の海図教室	7月28日	143	訓練センター／午前と 午後2回
親子でピンホール写真体験 教室	8月1日、2日	159	訓練センター／午前と 午後4回 10日～1 6日まで博物館ロビー で作品展示
ソーラーで動く船をつくる 工作教室	8月3日、4日	84	訓練センター／午前と 午後4回
ポンポン船をつくる工作教室	8月5日	59	訓練センター／午前と 午後2回
おはよう!操船シミュレータ ー教室	8月7日、8日	14	常設展示室／2回
モーターで動く船をつくる 工作教室	8月18日	58	訓練センター／午前と 午後2回
横浜みなとロケ地散歩	10月20日	14	メモリアルパーク～新 港ふ頭～大さん橋
大人の海図教室	11月10日	19	訓練センター
計		12,348	

#### 4 ライブラリー事業

港湾、海運、船舶、造船、港運、航海などの海事関係図書、雑誌を収集、整理、公開しました。

- (1) 収集図書 図書購入：76冊 寄贈：82冊 計161冊  
蔵書数：23,138冊（平成25年3月末現在）  
受入雑誌タイトル数：188タイトル

(2) 利用者数 11,421人 (内、ライブラリー有料利用者103人)

## 5 調査・研究・収集・出版活動事業等

### (1) 収集

昭和期の汽船発着表、戦前の船会社のポスター、関東大震災の鳥瞰図、進水記念絵葉書などを収集しました。

購入：51点、寄贈：1,108点、採集：148点 計1,307点

### (2) 整理保存

収集した1,000点余の資料を整理し、収蔵庫に保存しました。

### (3) 調査研究

企画展準備にともなう資料調査を実施しました。

### (4) 資料の館外貸出・特別利用 37件

横浜都市発展記念館、日本テレビ放送網、三菱重工業横浜製作所、日本海事広報協会などに資料を貸し出しました。

### (5) その他

- ・平成24年は、タイタニック号沈没100年にあたるため、4月14日(土)～5月6日(日)まで日本人唯一の生存者細野正文の手記を展示する「特別公開 タイタニック日本人生存者の手記」を常設展示室で行いました。入館者数は13,658人でした。
- ・8月12日、開館以来からの入館者300万人を達成し、記念セレモニーを行いました。
- ・特別展示室貸出事業として9月7日(金)～17日(月・祝)まで、(公財)日本殉職船員顕彰会主催の「戦時徴用船の最後 第38回大久保一郎遺作展」展を開催しました。入館者数は1,034名でした。
- ・横浜市内の中学校の生徒の職業体験を受け入れました。

### Ⅲ 緑地事業及び研修施設事業等

#### 1 緑地の維持管理・活用

##### (1) 安全管理・美化

緑地等での安全管理、景観、保全、美化清掃を実施して、施設の環境の維持保全を図り、来園者が安心・快適に過ごせる空間を提供しました。

##### (2) 撮影

休館日であっても、日本丸メモリアルパークでの撮影などの利用を可能にするなど利用促進を図りました。

項目／年度	24年度	23年度
動画	30件	23件
静止画	25件	17件

##### (3) 催事

緑地等における各種催事の企画やイベント誘致で利用促進と賑わいを創出しました。

項目／年度	24年度	23年度
緑地使用行事	36件	50件
自主事業行事	64件	59件

#### 2 研修施設(訓練センター)の管理運営

年間累計では前年度対比で約124%の利用がありました。その前年も128%の伸びがあり最近では空いている日にちを探すのが大変なほどになりました。

口コミ客やリピーター客も増えてきたので今後はより効率的な利用を図れるように努力していきたいと考えます。

項目／年度	24年度	23年度
第一教室	448件	398件
第二教室	257件	212件
第三教室	402件	303件
小会議室	348件	261件
合計	1,455件	1,174件

### 3 シーカヤック体験教室事業

みなとみらい21地区の水際線に位置し港湾緑地である日本丸メモリアルパークの内水域(シーカヤックパーク)を中心に、NPO法人横浜シーフレンズと連携して、シーカヤック体験教室をこども対象と大人対象に分けて年間35回開催しました。また初心者対象の試乗会形式のシーカヤック教室も年間14回開催し、合計49回の教室開催により1,123名という多くの方に楽しんで頂くことができました。更に横浜青年会議所などが企画したシーカヤック教室にも約120名の参加がありました。

また2年続けて横浜市内3大学の授業として大学生のシーカヤック教室を行い延べ160名の参加がありました。

様々な活動を含めると1年間総合計では内水域中心に1,403名という過去に例を見ない結果を残すことが出来ました。

そして新しい取り組みとして10月下旬には愛知・埼玉・千葉県などから8チームが参加して新しいマリンスポーツである『第1回日本丸杯カヌーポロ大会』も行われ賑わいが創出されました。

#### \* 『大学生シーカヤック教室』開催実績日

8月29日～9月1日 神奈川大学(延べ80名参加)

9月12日～9月15日 横浜国大・横浜市大(延べ80名参加)

#### \* 『カヌーポロ』プレ大会の実施

10月28日(日) 約60名参加

## IV 集客・プロモーション事業

### 1 旅行会社への営業活動

JTBグループ各社、近畿日本ツーリスト、日本旅行、トップツアー、国際旅行社、富士急トラベルなど学生団体を取り扱う主要な旅行会社の本社・団体仕入担当者・国内全支店宛368か所へ遠足ならびに修学旅行誘致のための情報発信をいたしました。(9月)

### 2 学校への営業・PR活動

#### (1) 小学校への営業

- ①市立小学校延べ358校(全344校)および県内小学校延べ665校(全514校)、国立私立小学校3校、幼稚園・保育園5園への訪問営業を実施いたしました。(5月から3月)
- ②神奈川県内の全公立小(858校)・私立小学校(25校)へ延べ2597校にDMによる遠足誘致のための情報発信をいたしました。(5月・6月・8月・9月・3月)
- ③東京都近隣4区の小学校362校へ遠足誘致のためのDMを実施いたしました。(5月・9月)

#### (2) 中学校への営業

神奈川県内の中学校552校および東京都近隣4区の中学校91校へ遠足の誘致のためにDMで情報発信をいたしました。(5月・3月)

(3)神奈川県と東京都近隣4区の小学校教職員向けに、7月に1回、10月に2回、計3回、施設見学会を開催し延べ12名の先生方に参加いただきました。

(4)横浜観光コンベンションビューロー主催の横浜修学旅行説明会(福岡開催)に参加しました。(10月)

(5)横浜市子ども会連絡協議会の協力を得て、横浜市子ども会に加入している子どもと保護者を対象に期間限定で入館料の割引を実施しました。(3月～5月)

### 3 マスコミ、近隣住民、近隣施設等への営業・PR活動

(1)6月開催の「東日本大震災 第1回 石巻かほく復興写真展」をはじめ、「夏休みイベント」「のぞいてみよう深海の不思議展2」「客船ポスター展」「第4回 横浜の帆船日本丸募集写真展」「クリスマスナイト日本丸」「横浜港観光名所紹介展」など展覧会やイベントに関するチラシやポスター等をマスコミ各社、市内公共施設、近隣ホテル、自治会等情報提供等を継続して実施いたしました。

(2)みなとみらいイベント連絡協議会と連動し、秋以降のイベントの連携を進めるとともに、地区内フリーペーパー等へ施設PRを掲載、地区内住民及び観光客へ情報提供を行いました。

(3)企画展「客船ポスター展」、「横浜観光名所紹介展」開催にともない、市内マスコミに、延べ21社へ訪問営業を行いました。

(4)「のぞいてみよう深海の不思議展2」「客船ポスター展」「横浜みなと博物館入館者300万人達成」「帆船日本丸総帆展帆300回達成」「帆船日本丸募集写真展」「クリスマスイベント」「お正月イベント」「帆船日本丸進水記念祭」「アルプスあづみの公園から雪がやってくる」など各イベントについての情報発信をマスコミあて延べ242か所へ送付しました。

(5)神奈川県や横浜観光コンベンションビューローを通じて、外国人向けの観光や旅行の展示会に施設パンフレットを設置しました。(4月・7月)

#### 4 地域・他施設・青少年団体との連携・協力事業

月日	内容	連携団体
3月31日～4月8日	みなとみらい21 さくらフェスタ2012	みなとみらい21 さくらフェスタ2012 実行委員会
4月1日～6日	パシフィコ横浜開催大学専門学校入学進級式割引対応	神奈川大学、国士舘大学、関東学院大学、岩崎学園
3月10日～4月8日	プリキュアに会おう！横浜キャンペーン	横浜市文化観光局
4月15日	ボーイスカウトカラーチーム隊フラッグ演技	日本ボーイスカウト神奈川連盟横浜地区
4月21日・22日	みなとみらい大道芸	みなとみらい大道芸実行委員会
6月16日～7月16日	「コクリコ坂から」横浜スタンプラリー	横浜市文化観光局
6月17日	青少年5団体イベント	横浜市青少年5団体
7月14日～8月31日	海も山もよくばりスタンプラリー	野毛山動物園と連携
7月20日～8月31日	ミュージアム・クイズラリーよこはま2012	神奈川県博物館協会主催事業に参加
8月11日・12日	ダンス・ダンス・ダンス@日本丸2012	ダンス・ダンス・ダンス@ヨコハマ2012 連携事業
8月26日	かながわ水の名産展	神奈川県観光課

8月22日・23日	横浜子どもアドベンチャーに帆船日本丸海洋教室参加	横浜市・横浜市教育委員会主催
10月6日	みなとみらいJAZZ & BEER 協力	横浜みなとみらい21
10月28日	宝島ハロウィンに参加	宝島ハロウィン実行委員会
11月3日	第2回中区ウオーク&健康フェスティバル	横浜市中区役所
11月4日	灯台記念日啓発イベント	第3管区海上保安本部交通部に協力
11月18日	野外であそぼう横浜スカウトパーク	日本ボーイスカウト神奈川連盟横浜地区
12月9日	西区ハマのウォーキングイベント	西区役所に協力
平成25年1月15日・16日	横浜市立中山中学校職業体験学習受入	横浜市立中山中学校
2月23日、24日	鶴見、西、中、神奈川、磯子、金沢区 区民デー	西、中、神奈川、磯子、金沢区
3月14日	横浜市立港中学校職業体験学習 受入	横浜市立港中学校
3月19日20日	神奈川大学卒業式割引対応（於：パシフィコ横浜）	神奈川大学
3月30日～4月7日	みなとみらい21 さくらフェスタ	みなとみらい21 さくらフェスタ2013 実行委員会
3月31日	アルクマさん日本丸に乗る	港湾局賑わい振興課

## 5 イベント、自主事業

(1) 日本丸メモリアルパーク内を活用し、横浜市など関係機関、近隣施設等と連携してイベントを開催、賑わいづくりと利用者のサービス向上に努めました。

(2) 12月21日～24日に横浜デジタルアーツ専門学校（港北区）の協力を得て、クリスマスナイト日本丸を実施しました。パーク内での紙袋ランタンの展示・ワークショップ、日本丸での船上ライブ、乗船者への絵葉書プレゼントなどを行いました。帆船日本丸の夜間公開では、1,537人の乗船者がありました。ワークショップは3回実施し67人の参加がありました。また、西区キャンドルアートと協力してスタンプラリーを1日実施し、56人の参加がありました。

(3) 1月26日27日に帆船日本丸83回目の進水記念祭を開催しました。入館料の割引やお餅の配布等の他、近隣の保育園・幼稚園の協力を得て、大きな日本丸のボードを作りました。2日間の帆船日本丸・横浜みなと博物館入館者は5,873人でした。

#### (4) 定例イベント

##### ① 吹奏楽演奏会

横浜吹奏楽連盟と神奈川県職場・一般吹奏楽連盟の協力で吹奏楽演奏会を11回開催。参加団体数34、演奏者数1,427人。開催日のパーク入場者数は41,799人。

##### ② フリーマーケット事業

リサイクル運動市民の会と共催で、フリーマーケットをメモリアルパーク内で、11回開催しました。(年間総参加者数は75,000人)

③ 日本丸ウェディング事業 6月に1回開催しました。また写真プランを3回実施しました。(10月、11月、12月)

##### ④ 音楽コンサートの開催

日本丸メモリアルパークアリーナでロックやポップコンサートを9回開催しました。加えて、夕刻に日本丸甲板などで6回夕暮れライブを開催いたしました。

#### 6 海と山と丘の公園交流事業

国営アルプスあづみの公園と、神奈川県立相模原公園との公園交流事業を実施しました。

月日	内容
6月2日～17日	第3回横浜の帆船日本丸 写真募集 受賞作品展 at 国営アルプスあづみの公園
6月10日	東日本大震災被災地への花・みどり提供事業 (相模原公園主催) at 日本丸メモリアルパーク
6月29日～7月8日	第3回横浜の帆船日本丸 写真募集 受賞作品展 at 県立相模原公園
7月19日～10月下旬	「第3回サンパチェンス写真コンクール」(相模原公園主催) at 日本丸メモリアルパーク (植栽協力)
10月6日・7日	「北アルプスフェア」で横浜みなと博物館のペーパークラフト (日本丸・黒船)を配布 at アルプスあづみの公園
平成25年1月1日～6日	県立相模原公園 相模の大凧展示 at 横浜みなと博物館ロビー
3月3日	アルプスあづみの公園から雪がやってくる in 日本丸メモリアルパーク